


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	東九州自動車道 志布志～末吉財部	事業区分	高速自動車国道
		事業主体	国土交通省九州地方整備局
起終点	自：鹿児島県志布志市志布志町志布志 至：鹿児島県曾於市末吉町深川	延長	48.0km
事業概要	東九州自動車道は、北九州市を起点に大分県、宮崎県を経て鹿児島県に至る延長約436kmの高速自動車国道である。東九州自動車道（志布志～末吉財部）は、九州南東部の広域的な連携を図り、物流の効率化および地域産業の活性化等、地域の発展に寄与すること目的に整備するものである。		
平成9年度事業化	H8年度都市計画決定	H12年度用地着手	H14年度工事着手
全体事業費	1,379億円	事業進捗率	27% 供用済延長 0km
計画交通量	8,000～18,300台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 797/1,299億円 (事業費：708/1,210億円) (維持管理費：89/89億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,806/1,806億円 (走行時間短縮便益：1,401/1,401億円) (走行経費減少便益：250/250億円) (交通事故減少便益：155/155億円)
基準年	平成20年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.5（交通量+10%） B/C=2.0（交通量-10%） 事業費変動：B/C=2.1（事業費+10%） B/C=2.5（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=2.1（事業期間+20%） B/C=2.4（事業期間-20%）		
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（鹿児島空港へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（中核国際港湾志布志港へのアクセス向上） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見	東九州自動車道の早期完成を求める声は強く、地元自治体などから積極的な整備促進の要望を受けている。当該区間の整備にあたっては、関係機関（周辺市町村の首長等）が一体となって事業を推進するプロジェクトチームを結成し、早期供用を目指している。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・大隅地域の人口は減少傾向にあるものの、自動車保有台数は増加しており自動車交通への依存が高まっている。 ・並行する国道220号、504号、269号は大隈地域と鹿児島市、九州各地を結ぶ産業・日常生活面の基幹ルートとなっており、交通量の伸びも1.10倍（H17/H11）と重要性を増している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成19年度末の事業進捗率は事業費ベースで約27%であり、そのうち用地進捗率は約29%に達している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今後は、平成21年度の大隅～末吉財部間の供用を目標に事業を進めており、事業効果を早期発現できるように、引き続き用地買収を促進するとともに、橋梁工事等の事業進捗を図る。		
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法の積極的活用、建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図るとともに、早期供用による事業実施の時間的コストの低減に向け、計画的・重点的な整備により効率性の向上を図る。		
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。